

令和 5 年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和 6 年 3 月 20 日

1、本園の教育目標

- ・なかよく→社会性を身に付ける
- ・あかるく→豊かな感性と安定した情緒を培う
- ・たくましく→健やかな身体を育む

2、本年度の重点目標

今年度より満三歳クラスの「りす組」を開始し、満三歳における保育の仕方を実地により学びながら実践していく。

3、評価項目の自己評価及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	幼稚園運営	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の少子高齢化により園児数が減少し空き教室ができ、先生が過剰状態にある為、満三歳クラスを開始した。</li> <li>・女性の社会進出に伴い、預かり保育を利用し易いように、朝は 7 : 30 ~、夜は 18 : 30 まで拡大した。</li> <li>・上記二点の変更が保護者の方にもわかり易いようにホームページをリニューアルした。</li> </ul>
2	保育内容	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの英語教育のより一層の強化の為に、満三歳クラスでも外国人講師による英語指導を行った。</li> <li>・今年度はコロナ感染も落ち着き、プール指導も積極的に行えた。</li> <li>・誕生会にサックス演奏者をお招きして、プロの音楽を聴くことにより、音楽に興味を持って貰うことが出来た。</li> </ul>
3	園行事	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染症の落ち着きにより、誕生会を全学年一斉に行うことが出来た。</li> <li>・保護者参観日も再開することが出来た。</li> </ul>
4	環境整備	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満三歳クラス用のアスレチックやボールプール、おもちゃ等、多くの備品を購入した。</li> <li>・総合遊具の老朽化により、補修工事を行った。</li> </ul>
5	教職員	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人の先生が入り、活性化を図ると共に幼稚園に早く馴染んで貰えるような指導を行った。</li> <li>・若い先生に研究保育を行い、園の教育方針のより一層の理解を深めて貰った。</li> <li>・様々な慰労会を通して、職員間のより一層の信頼関係を深めて貰った。</li> </ul>

6	子育て支援	B	・未就園児教室を行うことで、同じ悩みを持つ保護者の方同士で相談できるように促した。また、ベテランの先生を多く配置し、保護者の方が相談し易い環境を作った。
---	-------	---	--

評価 A・・・十分に成果があった      B・・・まあまあ成果があった  
C・・・少し成果があった      D・・・成果がなかった

#### 4、評価項目の学校関係者評価

	評価項目	評価	評価内容
1	幼稚園運営	A	・時代の変化に適応しながら、良い幼稚園運営が出来ている。 ・ホームページも大変わかり易い。
2	保育内容	A	・英語は今後も必要な言語になるので、良い事だと思う。 ・コロナ感染症に負けず、良い保育が出来ていると思う。
3	園行事	A	・園行事も次々とコロナ感染症が流行する前に戻りつつあるが、全てを戻すのではなく、感染症対策をしたことで新たな方法を模索した結果、以前よりも良い方法で行うことが出来ている。
4	環境整備	A	・満三歳クラスを開設したことで、新しい遊具が増え、子ども達も大変満足しているように感じた。
5	教職員	C	・新人の先生が都合により退職してしまったことが残念である。 ・先生同士の交流があるのは良い事である。
6	子育て支援	B	・満三歳クラスがありながらも、住み分けとして未就園児教室は今後も保護者の方の相談し易い環境を整え提供出来たら良いと思う。

評価 A・・・十分に成果があった      B・・・まあまあ成果があった  
C・・・少し成果があった      D・・・成果がなかった

#### 5、次年度の課題

	評価項目	評価内容
1	幼稚園運営	・今後は満三歳からの入園がメインになってくるので、それに対応できるようにする。 ・次年度より私学助成の預かり保育から一時預かり事業に移行する。
2	保育内容	・外部講師などを積極的にお招きして、子ども達に刺激を与える。
3	園行事	・引き続きより良い方法で園行事が行えるように模索していきたい。
4	環境整備	・引き続き満三歳クラスの充実を図る。 ・熱中症対策を考えていきたい。
5	教職員	・次年度も新しい教員が内定しており、しっかりと育てていきたい。
6	子育て支援	・園庭を開放することも考えていきたい。